

平成30年度 第1回伊東市政モニター会議録（要旨）

日 時 平成30年4月26日（木）午前10時30分～正午

場 所 市役所7階 特別会議室

出席者 市政モニター8人

市長、若山副市長、佐野副市長、杉本市長戦略監、中村企画部長、
財政課長、市政戦略課長、担当

1 開会

2 委嘱状交付

3 市長あいさつ

・市政モニター制度は市民の市政に対する建設的な意見、要望を聴くことにより世論の動向を正しく把握し、市政へ反映させていくための制度である。長年色々な人をお願いしており、成果も出ている。会議は1年間に4回だが、随時様々な方法で意見等を寄せていただきしっかり対応していくので、お気付きのことを伝えていただきたい。

・市長に就任しておよそ1年になるが、地域タウンミーティングや未来ビジョン会議を実施し、これまで聴けなかった声を聴きそれを形にしている。具体的には、タウンミーティングで要望のあった各種インフラ整備、子育て環境や高齢者福祉などについて改善を進めている。未来ビジョン会議では子育て支援をテーマとし、子育て支援アプリの導入に繋がった。市民の意見の後押しがあることにより、施策を推進することができるものと考えている。市政モニター会議はその根幹であり、様々な分野で活躍されているモニターの皆さんに色々のご指導いただきたい。

4 モニター自己紹介及び当局紹介

（省略）

5 懇談

伊東市の財政について（財政課長）

（平成30年度の一般会計予算を中心に、伊東市の財政について説明）

日頃思っていることや伊東市の将来、地域の課題などについて

【モニターA氏】

伊東市には15の行政区ありますが、行政区と比較して我々の温泉別荘地は野放しにされているように感じ、伊東の広報にも出てきません。

住所は八幡野であっても八幡野区との関わりがありません。温泉別荘地には定住する人も多いので、もっと区との関わりがあってもいいのではないかと考えています。

伊東市内には温泉別荘地が18くらいはあると思いますが、これらを結集して伊東の未来をどうするか、定住移住をどのように進めるか、空き家空き地などの購入方法などを考えたらどうでしょうか。例えばアンテナショップを首都圏に設けたり、不動産会社の協力も得る必要があると思います。

伊東市は非常に閉鎖的で外からの人をなかなか受け入れない部分があると感じます。

八幡宮来宮神社は大変歴史のあるものにもかかわらず、それをPRするような手立てが全くされていません。予算を計上し、市民にもっとPRし、あるものを最大限活用すべきではないでしょうか。ボランティアの協力を得ることも可能だと思います。

【市長】

区長と同様に、主な別荘地の役員に対して懇談の機会を設けており、ご意見を伺い対応をしておりますが、それが伝わっていないことも考えられるため改善していきたいと考えます。

空き家対策については昨年度から本格的に取り組み始め調査を進めているところです。静岡県宅地建物取引業協会と協定を結び、市内に増加している空き家を市場に流通させることを進めてまいります。

また、東京都千代田区有楽町の東京交通会館に静岡県移住相談センターがあることから、連携して移住施策を進めてまいります。

八幡宮来宮神社については宗教法人の所有のため、直接市が整備等を行うことはできません。地元から相談を受けることはあり、例えば、老朽化したトイレなどを改修したくても市が直接改修することはできません。そのため、自主的に区又は宗教法人が進めていただくこととなりますが、応援はさせていただきます。

いただいたご意見も伝えながらできることから改善してまいります。

【モニターA氏】

5月に自治会の総会がありますので、そこで八幡宮来宮神社あるいは八幡野区へ寄付することを提案したいと思います。同じ伊東市に住む者として寄付できるものは寄付し、依頼することは依頼してもいいのではないかと考えています。

【モニターB氏】

私も昨年移住し、この町に知り合いのいないところから始めています。自分の独立と家族の事情により、東京の事務所の他に伊東でも事務所を構えることを考え、昨年物件を買い少しずつ動き始めています。

駅前にある飲食店オーナーと知り合う機会があり、その人と話をした時、伊東は閉鎖的であると言っていました。例えば商店街の空き店舗を借りようとしても、なかなか借りることができません。店舗を使っていないにもかかわらず、貸さないためシャッター商店街となってしまっています。空き店舗を貸さない正確な理由は分かりませんが、空き店舗のままにしているもそれほどお金がかからないことと、何か新しいことを始めるのが怖いからそのままにしておこうと考えているのではないのでしょうか。

同じ静岡県でも西部、中部、東部で性格が違って、東部の方は比較的穏やかだと聞いたことがあります。入ってきて定住し、仲良くなってしまうえば親身になってくれるように思います。

温泉に関して、伊東は駅を降りてからふらっと気軽に入れる温泉が無いように思います。自分が温泉に入ろうと思ったときにはインターネットの情報を調べますが、数ある情報の中でどこがいいか調べることができません。皆さん一生懸命発信していますが、その情報が広がり過ぎてしまっているように思います。自分に置き換えた時に欲しい情報、自分が利用した時に感じたことなどを発信してもらうのも一つの手だと考えます。

【市長】

空き店舗となり借り手がいなくても、トラブルがなければ良いと考える人もいます。ここ数年、商店街の空き店舗を新たに賃借して開店する際に、家賃と開業にかかる経費の一部を補助する制度を実施しており、利用いただいています。引き続き市としてもできることは協力してまいります。

色々な人から「閉鎖的」という意見は聞かれますが、決して人が悪いわけではなく、恥ずかしさや、自分たちが地域を守ってきたという自負が強いことから、移住してきた人にとっては受け入れられにくいと最初は感じられるのかもしれませんが。しかしながら、相当人は良いと思いますので、色々な機会に交流が持てればと思います。

先ほど財政の説明の中で触れた「HIKARI to YUKATA にぎわい演出事業」に関連するイベントは観光イベントではありますが、市民でも浴衣で街に出てもらえればサービスを受けられるようにしたいと考えており、現在企画検討を進めているところです。そのようなイベントでも交流が図れるものと考えており、話題となるよう取り組んでまいります。

財産区で温泉会館を所有しており、駅周辺にも気軽に入れる温泉はありますが、見つけにくいのかもしれません。観光客でも知っている人は利用していますが、発信の方法を一元化するなどわかりやすくして、利用しやすくする工夫が必要だと思えます。

【モニターC氏】

平成24年に意見箱を利用し、伊東駅前にベンチや足湯を設置することを提案しました。24年3月16日付け回答では、伊東駅前整備について関係地権者との調整を進めているとのことでした。財政に関する説明の中で伊東駅前観光トイレ改修について触れられており、これはとても良いことだと思います。関係地権者との話し合いは難しいことだと思いますが、一大開発できればと思っています。

子どもたちが首都圏に住んでおり、駅でそちらの自治体の広報紙をもらって見ることはありますが、内容は事務連絡ばかりです。広報いとうはとても見やすく毎月楽しみにしています。もっとたくさんの人の目にとまるように駅などにも置いてみてはどうでしょうか。

【市長】

伊東駅周辺整備については平成25年以降JRを主とした関係地権者との会議が止まっておりました。市長就任後、関係地権者に再び集まっただき意思確認をしたところ、協力するから進めてもらいたいという意見をいただきました。直ちにできることとして、伊東駅前トイレの改修を早急に進めてまいります。

駅前広場については、足湯やベンチなど滞在するためのスペースが少ないことや、一般車乗降場所が無いことなどを改善していきたいと考えております。

今年度、伊東駅周辺地区まちづくり検討調査事業費として1500万円計上しスタートしたところです。市民の皆さんの意見を聴き、駅前再整備先進地の事例を研究しながら進めてまいります。

広報いとうについては、明るくなりアピール度が高くなったなど、評判を聞くことが多くなりました。駅や競輪場など置くことができる場所を探して置くようにいたします。

【市政戦略課長】

広報いとうは公共施設や市内のスーパーにも置いていただいております。加えて市内のコンビニエンスストアにもお願いし、順次配架場所を増やしているところです。

【モニターD氏】

中学校部活動の補助について、早速30年度予算に組み込んでいただき大変感謝しています。しかしながら新中学1年生の保護者から、経済的な負担により運動部ではなく文化部に入部させるという話を聞くことがあります。予算をとっていただき学校へ届いていることと思いますが、それが保護者に伝わっていないのではと思います。良い施策に取り組んでも市民に伝わっていないのは残念でもったいないことだと思うので、どのような方法が良いかはわかりませんが市民に伝えていただきたいと思います。

市長の所信表明で高校生の通学費の補助について述べられていましたが、現在の進捗状況を教えてください。高校生の保護者の間でも話題となっています。

【市長】

中学校部活動補助事業として500万円計上しており、5校の中学校に分け、校長が主となり運動部も文化部も平等に、例えば人数割合や掛かる費用を勘案して配分されるものと考えております。学校の運営経費としてではなく、基本的には保護者の負担軽減のための予算と考えております。スタートしたばかりなので色々な要望を言っていただく中で、校長へ伝わるようにしてまいります。

小中学生及び高校生の通学費補助については、現在研究を進めているところです。伊東から市外の高校へ鉄道等を利用して通学する生徒は、1学年当たり約200人、3学年で計600人と想定されます。小中学生についてもバスや電車を利用する児童生徒がある程度いるものと考えております。

定期券購入費の一部を補助するところからスタートできないか検討をしているところです。

【モニターE氏】

今年度の予算の中で「HIKARI to YUKATA にぎわい演出事業」に多く計上されていますが、内訳についてお伺いします。熱海や下田では、地域の人が率先して浴衣で歩くイベントを実施しており、おそらく市のお金をかけないで実施しているのではないかと思います。もう少し地域の人が活発に活動すれば、市の予算を使わなくてもできることなのではと感じます。

伊東駅前の整備とトイレの改修に関連して、市内には障がい者用の多機能トイレが少ないため、多機能トイレは必ず整備していただきたいと思います。更に可能であればオストメイト対応トイレをお願いします。

社会福祉協議会とともに数年かけて市内のトイレ調査を行っています。トイレ建設の際に業者に全て任せてしまうと、利用する当事者の目線で造られないことが多く、実際は利用しにくいことが多々あります。建設の際は実際に利用する障害のある人や理学療法士など有識者の意見を取り入れていただくと、より良いものになると思います。

また、駅前整備に予算が使われるようであれば、身体障がい者用の乗降場を作っていただきたいと思います。現在の駅前ロータリーは段差があり、介護タクシーなどは段の上へ乗り入れていることもあるようですが、可能であれば安全に乗降できるよう整備をお願いします。

【市長】

「HIKARI to YUKATA」のイベントは初めて実施するため、まだ手探り状態ではありますが、夏に向けて現在大至急準備を進めているところです。光については浴衣に似合うような雰囲気のリフトアップやイルミネーションを考えております。例えば、松川遊歩道を薄明かりで照らし散策しやすい雰囲気にして、川を挟んだ東海館などの景観を眺めていただくゾーンとすることを考えております。また、4月から渚橋にLEDの照明をつけ、雰囲気づくりに取り組んでいるところです。

浴衣自体は旅館等にご協力いただき、浴衣を着た多くの宿泊者を街に出していただくことをお願いしております。しかし人手不足により旅館の方で夕食後、宿と街の間の送迎対応が難しい状況にあるため、対応方法を検討しているところです。

市民の皆さんにも賑わい創出のため浴衣を着て街に出ていただきたいと考え

ております。市から飲食店や物販店にインセンティブの協力依頼をし、市も応援することになっております。現段階では具体的なことは未確定の部分がありますが、賑わいのある街づくりを目的としており、今後大々的に広報し、広く皆さんの協力をいただきたいと思いますと考えております。

伊東駅のトイレについては、オストメイト対応を含め完全な多機能トイレを備えるほか、女性のパウダールームやキャリーケース置き場を設置することを考えております。限られたスペースではありますが、ご提案のような皆さんが利用しやすい機能的なトイレとなるよう考えているところです。

伊東駅前広場全体を今後改修していくことを考えておりますが、現在の乗降場所についての対応は難しい状況です。基本的には地権者であるJRに聞き入れてもらう必要がありますので、私からも申し入れますが、皆さんの生の声を直接伝えていただくようお願いいたします。

【モニターF氏】

お願いというわけではなく自分たちも頑張っていかなければいけないことであり、色々なジャンル、多岐に渡ることなので、この場の皆さんの知恵と力をお貸しいただきたいと思えます。

観光協会の中に女性目線で様々な意見、考えを集める女性部会があります。その部会の中で、伊東市内の全ての行事等を一覧にしたものが欲しいという意見が良く出されます。観光協会では「観光ごよみ」を作っていますが、外国人、障がい者、老若男女色々な好みの人、色々な体験を求める人が多くなる中、観光イベントだけでなく社会福祉協議会、商工会議所や商店街、市役所等が行うありとあらゆるイベントの情報を集約したいと考えています。

また、外国人は私たちがイベントとは思わないような市民の普通の生活、農業漁業体験、農作業の年間スケジュールなども知りたいようで、そのような情報を網羅するものが欲しいと考えています。

例えば誰でもホームページに載せたり、掲示板に出すなど方法がとれないでしょうか。ただし、何でも掲載できるとなると載せたくない情報も集まってしまう可能性もあります。色々制約もある中で、色々なジャンルの情報を集める方法について皆さんのお知恵をお借りしたいと思えます。

【市長】

生活に関わる全ての情報を一元化したいということですね。情報を集めやすいのは市であると思えます。そのような情報を誰でも出せるようなページが伊

東市のホームページ上にあるというイメージでしょうか。

【モニターF氏】

それが市のホームページでなくてもいいと思います。

【モニターE氏】

行政の職員が業務の中でそれを行うのはなかなか制約もあり難しいと思います。そこで提案ですが、日頃SNSを使って発信している人が地元にもたくさんいて、自分の楽しみや伊東のためになると考えて発信しています。そのような人に委託して作っていただくのも一つの方法だと思います。そのような人はかなり情報を持っています。

【モニターF氏】

一人だと、その人が知り得る情報、ジャンルも限られてしまうのではないのでしょうか。

【市長】

インスタグラムやフェイスブックだと情報が広がっていきますね。

【モニターE氏】

複数の管理者がいればいいのではないのでしょうか。確かに難しいとは思いますが。行政や観光協会が仕事の中で行うのはなかなか大変だと思います。それをボランティアや薄謝でもいいので委託するという方がいいのではないのでしょうか。そのほうが情報量も多くなるのではないのでしょうか。

【市長】

昨日の商工会議所からの提案は、そのようにはなりませんか。

【モニターG氏】

何年後かにはなるかもしれません。

先ほどのご提案のように伊東が良くなればという思いの強い方に協力をお願いすることは画期的だと思います。しかし統制を取るためにバランス感覚の良い管理者のような人が必要です。伊東を良くしたいという熱い思いのある人はSNS上でもたくさん友達がいる人が多いと思うので、自分が持っている情報を入れてくださいと呼びかければ、応じてくれる人も多いのではと思います。伊東市でその「場所」を整えていただき、自由に書き込むことができれば色々なジ

ジャンル情報を1か所に集めることができるのではないのでしょうか。

【市長】

それについてはまた検討いたします。SNSの怖いところは、もし間違ってしまったときにそれを市が行っていたとなるというところですか。

【モニターF氏】

私達も引き続き考えます。

【モニターB氏】

私も移住してきた際に同様の提案を市にしたことがあります。市内では単独で情報発信する人もいますが、グループを作りグループ内だけで情報を共有している人もいます。その中にはだいたいまとめ役がいるので、そのような代表を集めて話し合う場を一度作れば、方法についてアイデアが生まれ、変えていくことができるのではと思います。

以前、市政戦略課で代表者の紹介をお願いしたことがありますが、個人情報関係か教えてもらうことができませんでした。そのような代表を自分で見つけて繋げていかなければならない状況ではありますが、やりたいとは思っています。もっと簡単に市が把握しているものなのか、それともSNSも人との繋がりであり、誰かの紹介で詳しい人を集めてまとめていけば同じような形になるのかなと思います。

【モニターH氏】

今までのお話を伺っていて、SNSやインターネットを使って情報を伝えることも大事ですが、そのような手段を使わない高齢者にも情報が行きわたるようにしていただきたいと思います。

動けなくなったときにどうしたらいいかという不安の声をよく聞きます。広報紙などに福祉サービスの情報を掲載していただけていますが、それがなかなか届いていないような状況だと感じます。

【市長】

高齢者で携帯電話やスマートフォンなどを持つ人はどれくらいいますか。

【モニターH氏】

何かを調べると言うよりは電話に出るだけで、安全のために家族から渡されているケースが多い印象で、8割程の人が持っていると思います。調べものに使

うなど積極的に活用している人も中にはいますが、あまり使わないという人が多く、書面から情報を得ることの方が多いと感じます。

【市長】

広報いとうなどはどのくらい活用されていますか。広報いとうがとても良くなったと言ってくれますが、どのあたりが良くなったかと聞くと「なんとなく良くなった」という表現です。読み込んでいかないとわからない感じでしょうか。

【モニターH氏】

広報いとうは見やすくなり、私たちにとってはわかりやすいと思うのですが、高齢者ご本人は必要な情報を探し切れていないように感じます。家族からもサービスについての問い合わせや相談を受けますが、あまり広報を見られていないという印象です。先ほど、コンビニにも広報を置いていると聞きましたが、知っている人は少ないと思いますので、そのようなことも知らせていただければと思います。広報いとうは見やすく良くなっていますのでたくさんの人に見ていただかなければもったいないと思います。

【市政戦略課長】

広報いとうのコンビニ配架についてですが、まだ市内の全てのコンビニではなく、協力していただけたところに置いている状況です。市のホームページでも見ることができ、現在、マチイロというアプリを使ってスマートフォンなどで見ただけのように環境整備を進めているところです。

【モニターG氏】

城星にお住いの人からの質問です。第4地区では試験的にプラスチックごみの分別収集を行っているようですが、市の狙い通りにできているのか、実施率や収集の効果、結果などを試験エリアにフィードバックされたのでしょうか。結果をどこで知ることができるのか教えて欲しいとのことです。

固定資産税の納付書についての質問です。市民の利便性を考え郵便局やコンビニで使えるようになっていますが、一括納付をしたい場合に、一括納付の納付書が郵便局のものしか入っていない理由を教えてください。

子育て世代や高齢者など市民それぞれの立場で色々と要望はあると思います。しかし、伊東市は観光の街でありますので、大切な市の予算を生きたお金として観光に大きく使っていただき観光客を増やすことが市民の暮らしを良くするこ

とに繋がると考えます。今、ジオパーク世界認定や静岡DCキャンペーンなど観光客を呼び込むチャンスなので、画期的な予算の使い方していただけるとありがたいと思います。

先ほど情報発信についての話がありましたが、市役所でAKBのプロモーション動画の撮影があったことなども、発信の仕方ですというものが外の人目に留まるかわからないので、伊東市でも色々な人の声を聴く中で情報発信に力を入れていただきたいと思います。

【市長】

観光プロモーション係を新しく作りましたので、積極的に発信しフィルムコミッションも推進していくことを考えております。今年度、観光に関する予算は政策的にかなり増額しております。今まで行っていなかったことを積極的に実行するよう指示しております。職員の提案、市政モニターをはじめ多くの人の意見を聴き、良いアイデアを積極的に採用していきたいと考えております。

【若山副市長】

平成29年1月から富士見町、城星、雇用促進の3町内で廃プラスチックの分別収集を開始し、30年1月からは城星で新たに14箇所、現在45箇所の実証実験の収集を行っております。この実証事業のアンケートを3つの町内会に実施し、集約をしている状況です。アンケートをもとに市民の皆さんが理解しやすい排出方法や、効率的な収集方法など検討していく予定であり、現段階では町内の皆さんにフィードバックはしておりませんが、今後フィードバックしていくことになると考えております。

固定資産税の納付書について、全期前納していただく場合にかつては前納報奨金がありましたが、その制度を廃止した際に、一括納付の納付書は郵便振替のみとなりました。伊東市の場合、固定資産税の納税者の5割は市外居住であり、お近くに伊東市の指定金融機関がないことが想定されるため、一括納付用の郵便振替用紙を同封しております。

そのため、指定金融機関やコンビニで一括納付していただく場合には、お手数ですが納付書を4枚お持ちいただきますようお願いいたします。

【市長】

合計した納付書をもう1枚付けることはできませんか。

【若山副市長】

可能ですがその分経費が余分にかかりますので、現状はつけておりません。ただしそのようなご要望が多ければ改善することは可能です。

【モニターG氏】

金融機関の無い地域でも郵便局ならあるという前提で、郵便局も選択できるという理解ですが、近くに郵便局しかない人は期別納付ができないのでしょうか。

【若山副市長】

郵便局で期別納付をご希望の人にはお電話で連絡をいただき、期別の郵便振替用紙を送付することで対応しております。全ての皆さんのご要望に応えきれない部分もありますが、ご意見をいただきながら改善に繋げてまいります。

【モニターG氏】

勉強になりました。ありがとうございました。

【市政戦略課長】

ありがとうございました。お時間がきましたのでここで終了させていただきます。本日はたくさんの建設的なご意見をいただきありがとうございました。今後の市政運営の参考とさせていただきます。

第1回市政モニター会議を終了させていただきます。引き続きご意見等をお寄せいただきますようお願いいたします。